

令和6年度

赤穂市観光客動態調査報告書



生島

(一社) あこう魅力発信基地・赤穂市

はじめに

この調査は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの1年間に赤穂市を訪れた観光客を把握し、今後の宣伝活動や受入体制整備等を推進するための資料として集計したものである。

各項目の数値は、観光施設や宿泊施設などからの報告をもとに集計したものであり、把握の出来ないところ（無人で解放されている施設：海岸・トレッキングなど）については含んでいない。また、1回の旅行過程で複数の観光施設に入込んだ観光客については、延べ人数で計上している。

目次

年度別の赤穂市観光客入込数調査

1 形態別入込数	2
2 目的別入込数	4
3 観光客入込動向の分析	6

参考資料

令和6年度兵庫県観光客動態調査結果	13
-------------------------	----

年度別の赤穂市観光客入込数調査

1 形態別入込数

年度 項目		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		
		入込数		入込数		入込数		入込数		
		千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	
総入込数		1,542	100%	1,462	100%	1,489	100%	1,413	100%	
日 帰 り ・ 宿 泊 別	日帰り客	1,226	80%	1,153	79%	1,194	80%	1,135	80%	
	宿泊客	316	20%	309	21%	295	20%	278	20%	
	宿泊客のうち施設別	ホテル・旅館	266	84%	259	84%	247	84%	242	87%
		公的宿泊施設	13	4%	13	4%	12	4%	1	1%
		寮・保養所	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%
その他（キャンプ等）		36	11%	37	12%	36	12%	35	12%	
居 住 地 別	県外客	632	41%	629	43%	655	44%	650	46%	
	県内客	910	59%	833	57%	834	56%	763	54%	
	（県内客のうち市民）	324	—	278	—	268	—	240	—	
利 用 交 通 機 関 別	J R	231	15%	205	14%	208	14%	198	14%	
	貸切バス	93	6%	88	6%	89	6%	99	7%	
	自家用車	1,141	74%	1,111	76%	1,132	76%	1,074	76%	
	その他（タクシー等）	77	5%	58	4%	60	4%	42	3%	

* 居住地別及び利用交通機関別の項目中、観光客の入込数及び比率は調査回答の内容による推定値である。

令和元年度 入込数		令和2年度 入込数		令和3年度 入込数		令和4年度 入込数		令和5年度 入込数		令和6年度 入込数		前年度 対比
千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	(6/5) %
1,500	100%	736	100%	993	100%	1,091	100%	1,082	100%	1,157	100%	106.9%
1,220	81%	539	73%	758	76%	711	65%	729	67%	821	71%	112.6%
280	19%	197	27%	235	24%	380	35%	353	33%	336	29%	95.2%
236	84%	162	82%	186	79%	255	67%	244	69%	234	69%	95.9%
10	4%	7	4%	9	4%	13	3%	11	3%	9	3%	81.8%
0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	—
34	12%	28	14%	40	17%	112	30%	98	28%	93	28%	94.9%
675	45%	327	44%	443	45%	482	44%	474	44%	502	43%	105.9%
825	55%	409	56%	550	55%	609	56%	608	56%	655	57%	107.7%
225	—	119	—	149	—	157	—	158	—	171	—	108.2%
225	15%	110	15%	143	14%	153	14%	151	14%	162	14%	107.3%
90	6%	37	5%	46	5%	43	4%	43	4%	23	2%	53.5%
1,155	77%	567	77%	783	79%	873	80%	866	80%	926	80%	106.9%
30	2%	22	3%	21	2%	22	2%	22	2%	46	4%	209.1%

2 目的別入込数

項目	年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	入込数		入込数		入込数		入込数		入込数	
	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比
総入込数	1,542	100%	1,462	100%	1,489	100%	1,413	100%		
自然鑑賞(御崎ほか)	27	2%	23	2%	20	1%	18	1%		
社寺参拝(花岳寺・大石神社ほか)	77	5%	65	4%	57	4%	53	4%		
まつり(義士祭ほか)	135	9%	134	9%	154	10%	175	12%		
ハイキング・キャンプ(御崎)	34	2%	35	2%	46	3%	42	3%		
釣り・潮干狩り	32	2%	28	2%	26	2%	19	1%		
施設見学	132	8%	129	9%	138	9%	121	9%		
ゴルフ・テニス	96	6%	99	7%	101	7%	87	6%		
温泉	272	18%	258	18%	257	17%	252	18%		
公園・遊園地	558	36%	508	35%	518	35%	465	33%		
ツーリズム施設	179	12%	183	13%	172	12%	181	13%		

平成28年3月	赤穂観光アクションプログラム(平成28～30年度)策定
平成28年3月	坂越大橋供用開始
平成28年8月	赤穂市周辺の特異な地質構造を「赤穂コールドロン」と命名((国研)産業技術総合研究所)
平成28年12月、29年3月	赤穂素・流・人(ソ・ル・ト)プロモーション推進事業 観光アプリ整備(12月)、観光PV制作(3月)
平成29年10月	JR有年駅橋上駅舎全面供用開始
平成30年5月	日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」追加認定
平成31年3月	赤穂観光アクションプログラム(平成31～33年度)策定
令和元年5月	日本遺産『「日本第一」の塩を産したまち播州赤穂』認定

令和元年度 入込数		令和2年度 入込数		令和3年度 入込数		令和4年度 入込数		令和5年度 入込数		令和6年度 入込数		前年度 対比
千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	(6/5) %
1,500	100%	736	100%	993	100%	1,091	100%	1,082	100%	1,157	100%	106.9%
21	1%	7	1%	0	0%	0	0%	0	0%	30	2%	—
61	4%	21	3%	18	2%	13	1%	14	1%	51	4%	364.3%
239	16%	10	1%	10	1%	50	5%	46	4%	68	6%	147.8%
33	2%	26	3%	40	4%	108	10%	94	9%	90	8%	95.7%
13	1%	13	2%	13	1%	13	1%	13	1%	13	1%	100.0%
131	9%	68	9%	76	8%	105	10%	126	12%	137	12%	108.7%
89	6%	87	12%	96	10%	100	9%	93	9%	89	8%	95.7%
228	15%	111	15%	157	16%	196	18%	185	17%	170	15%	91.9%
527	35%	337	46%	500	50%	404	37%	395	36%	391	34%	99.0%
158	11%	56	8%	83	8%	102	9%	116	11%	118	10%	101.7%

令和3年3月	「赤穂スイーツブック」作成
令和3年10月	赤穂版DMOの母体となる「(一社)あこう魅力発信基地」設立
令和4年1月	「赤穂スイーツブックⅡ」作成
令和4年3月	「赤穂市 観光・移住定住戦略(2022-2026)」策定
令和4年12月	赤穂義士祭忠臣蔵パレード再開
令和6年3月	観光PV「たびする春の赤穂」制作
令和7年3月	「赤穂市観光パンフレット・ポスター」リニューアル

3 観光客入込動向の分析

○総入込数

令和6年度の赤穂市への観光入込客数は、令和5年度比106.9%、人数にして75千人増の1,157千人となった。

宿泊・日帰りの別では、宿泊客は前年度比95.2%、人数にして17千人減の336千人となった。一方、日帰り客については前年度比112.6%、人数にして92千人の増となった。宿泊客が減少した主な要因としては、キャンプブームの沈静化に伴うキャンプ場利用者の減少が継続していることや、宿泊施設の閉館に加え、兵庫県における全国旅行支援「ひょうごを旅しようキャンペーン・ワイド」が令和5年6月末で終了したことなどによる影響が考えられる。

一方、日帰り客の増加については、義士祭が土曜日開催であったことや、新たに集計対象施設として御崎レストハウス、伊和都比売神社、坂越まち並み館が加わったことに加え、文化会館の利用者が増加したことなどが要因として挙げられる。

○形態別にみた入込動向

(1) 宿泊客が前年度比95.2%、人数にして17千人の減、日帰り客が前年度比112.6%、人数にして92千人の増となった。(表1参照)

(2) 月別入込数を見ると、12月の144千人が最も多い月となった。季節としては、夏(6月~8月)は前年比99.1%、人数にして2千人減少しているものの、それ以外の季節では入込数が増加しており、特に冬(12月~1月)の入込数は前年比113.8%、人数にして39千人の増となった。

(表2・3参照)

(3) 利用交通機関別では、自家用車を利用した観光客が926千人(前年度比106.9%)で全体の約80%と最も多く、次いでJRが162千人(前年度比107.3%)、その他(タクシー等)が46千人(前年度比209.1%)、貸切バスが23千人(前年度比53.5%)となっている。貸切バスの比率が低く、その他(タクシー等)の利用が特に増加しているのは、コロナ禍以降、人との接触を避ける観点から団体旅行を控える流れができ、継続しているものと考えられる。

(表4参照)

○目的別にみた入込動向

- (1) 鑑賞型入込数では、「自然鑑賞」「社寺参拝」「施設見学」において、集計対象施設が追加されたことにより、入込数の増加が見られた。また、「まつり」は義士祭が土曜日開催であったことにより、前年度比147.8%で、人数にして22千人増加した。(表5参照)
- (2) スポーツ型入込数は、「ハイキング・キャンプ」「ゴルフ・テニス」とともに前年度比95.7%で、それぞれ人数にして4千人の減少となった。(表5参照)
- (3) 行楽型入込数では、「温泉」の入込数が前年度比91.9%、人数にして15千人減少し、「公園・遊園地」の入込数は前年度比99.0%、人数にして4千人の減少となった。(表5参照)
- (4) 体験型入込数は、「ツーリズム施設」の入込数が前年度比101.7%、人数にして2千人の増加となった。(表5参照)
- (5) 目的別入込数を全体比率から見ると比率の大きなものから順に、公園・遊園地391千人(33%)、温泉170千人(15%)、施設見学137千人(12%)、ツーリズム施設118千人(10%)となった。(表5参照)

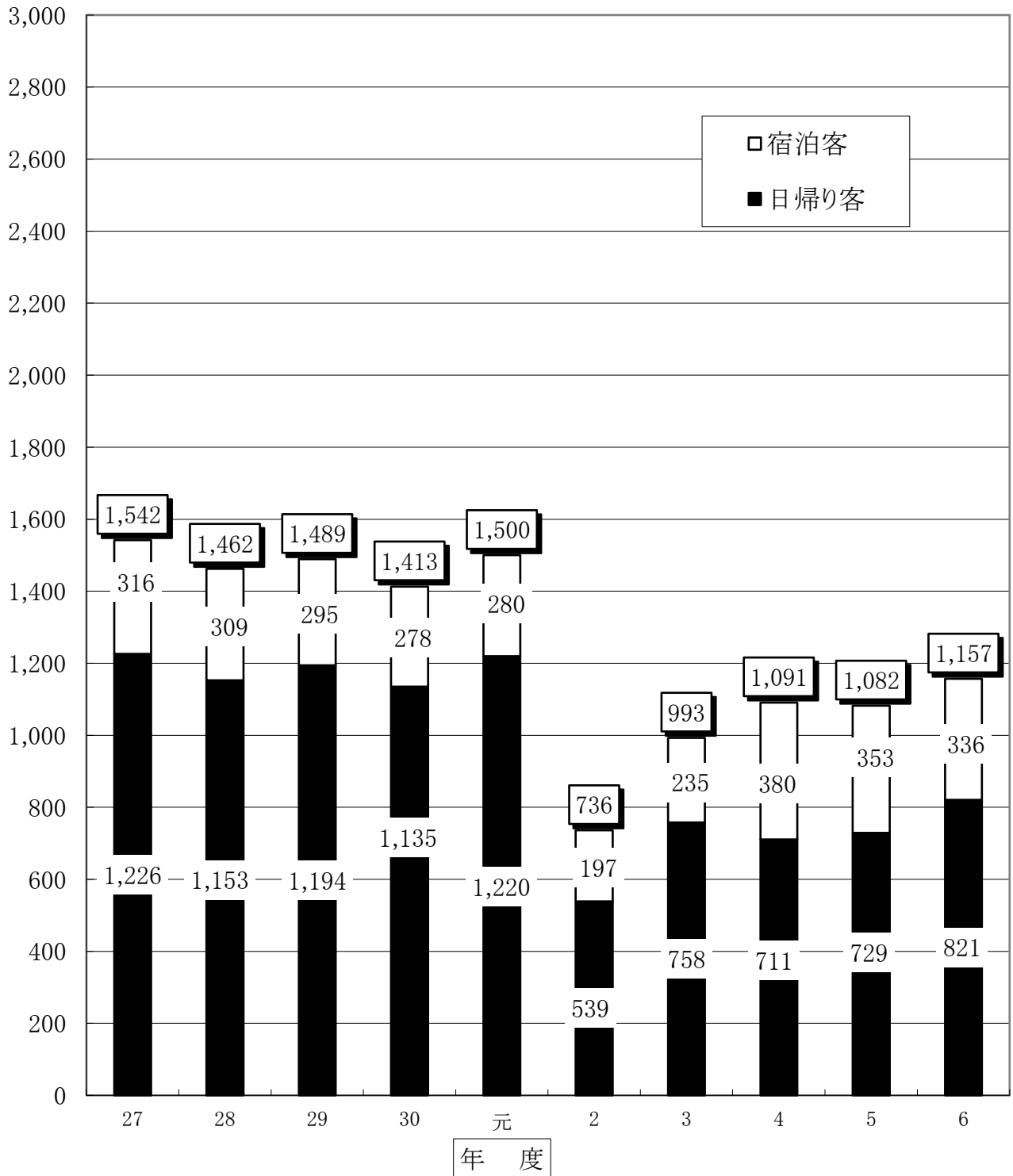
【参考】「新型コロナウイルス感染症対策」の状況

令和2年	4月 7日	～	5月21日	緊急事態措置
令和3年	1月14日	～	2月28日	緊急事態措置
令和3年	4月 5日	～	4月24日	まん延防止等重点措置
令和3年	4月25日	～	6月20日	緊急事態措置
令和3年	6月21日	～	7月11日	まん延防止等重点措置
令和3年	8月 2日	～	8月19日	まん延防止等重点措置
令和3年	8月20日	～	9月30日	緊急事態措置
令和4年	1月27日	～	3月21日	まん延防止等重点措置
令和5年	5月 8日	～		5類感染症へ移行

〈表1〉

人数(千人)

観光客総入込数の年次推移

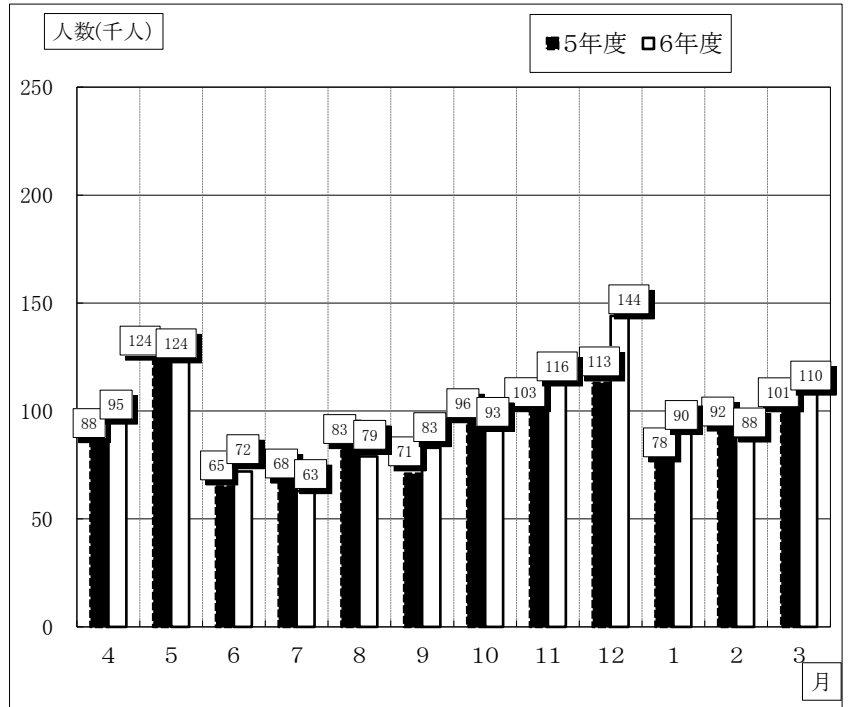


<表2>

月 別 入 込 数

(千人)

月	5年度	6年度	増減	対前年比
4	88	95	7	108.0%
5	124	124	0	100.0%
6	65	72	7	110.8%
7	68	63	△ 5	92.6%
8	83	79	△ 4	95.2%
9	71	83	12	116.9%
10	96	93	△ 3	96.9%
11	103	116	13	112.6%
12	113	144	31	127.4%
1	78	90	12	115.4%
2	92	88	△ 4	95.7%
3	101	110	9	108.9%
合 計	1,082	1,157	75	106.9%

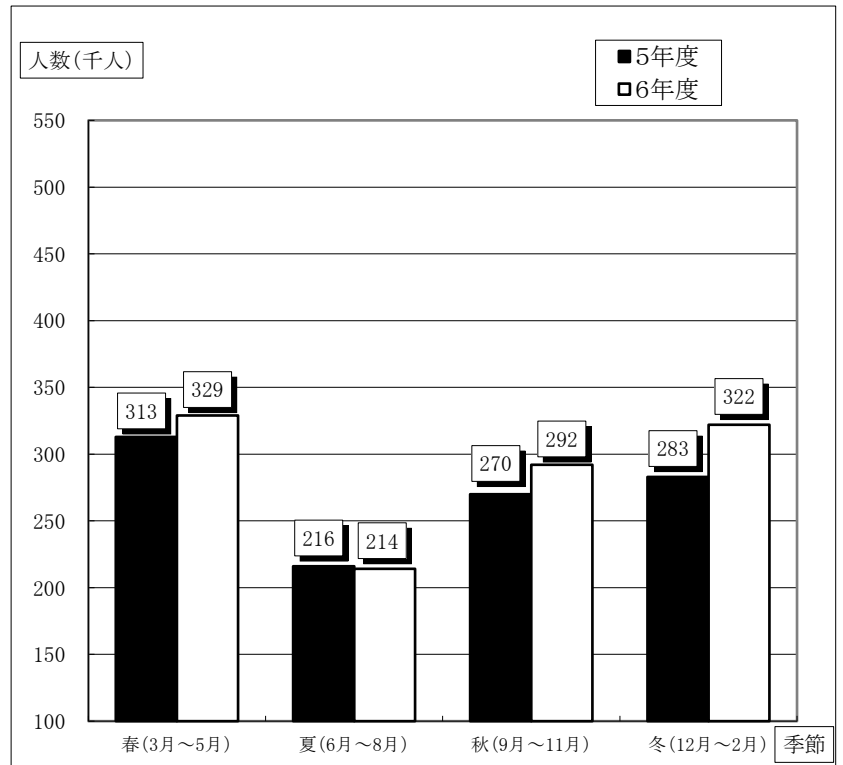


<表3>

季 節 別 入 込 数

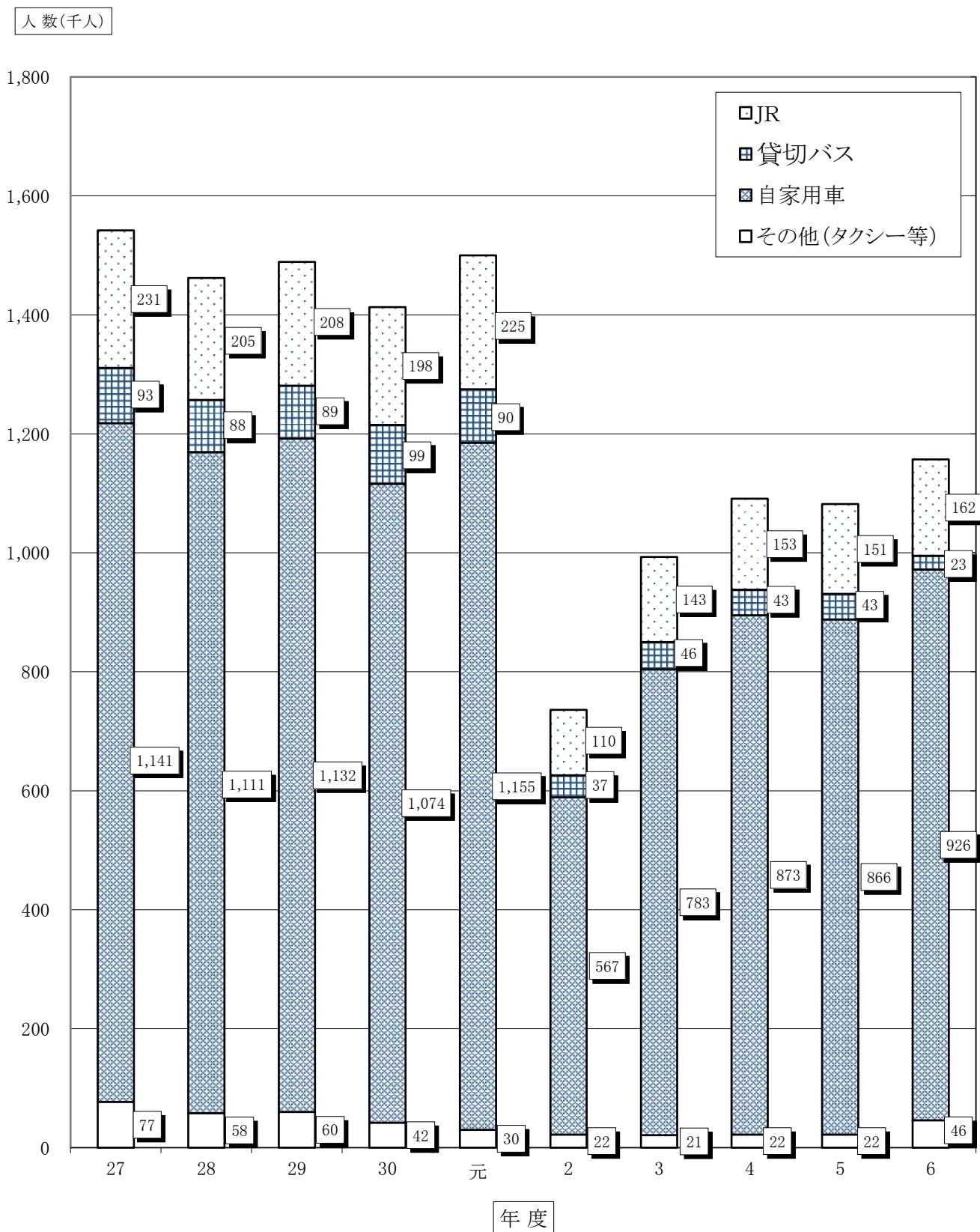
(千人)

季節	5年度	6年度	増減	対前年比
春(3月～5月)	313	329	16	105.1%
夏(6月～8月)	216	214	△ 2	99.1%
秋(9月～11月)	270	292	22	108.1%
冬(12月～2月)	283	322	39	113.8%
合 計	1,082	1,157	75	106.9%



〈表4〉

利用交通機関別入込数

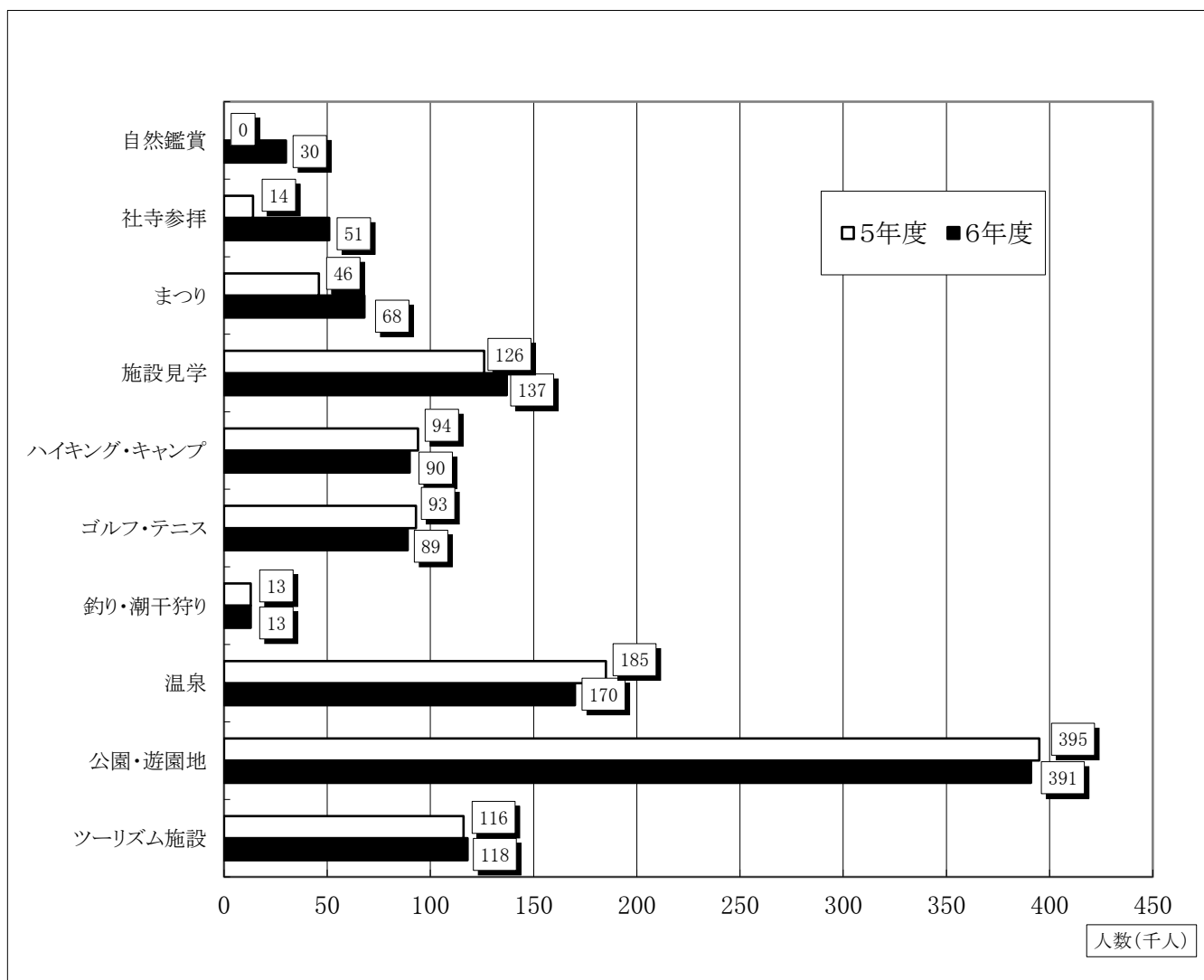


〈表5〉

目的別入込数

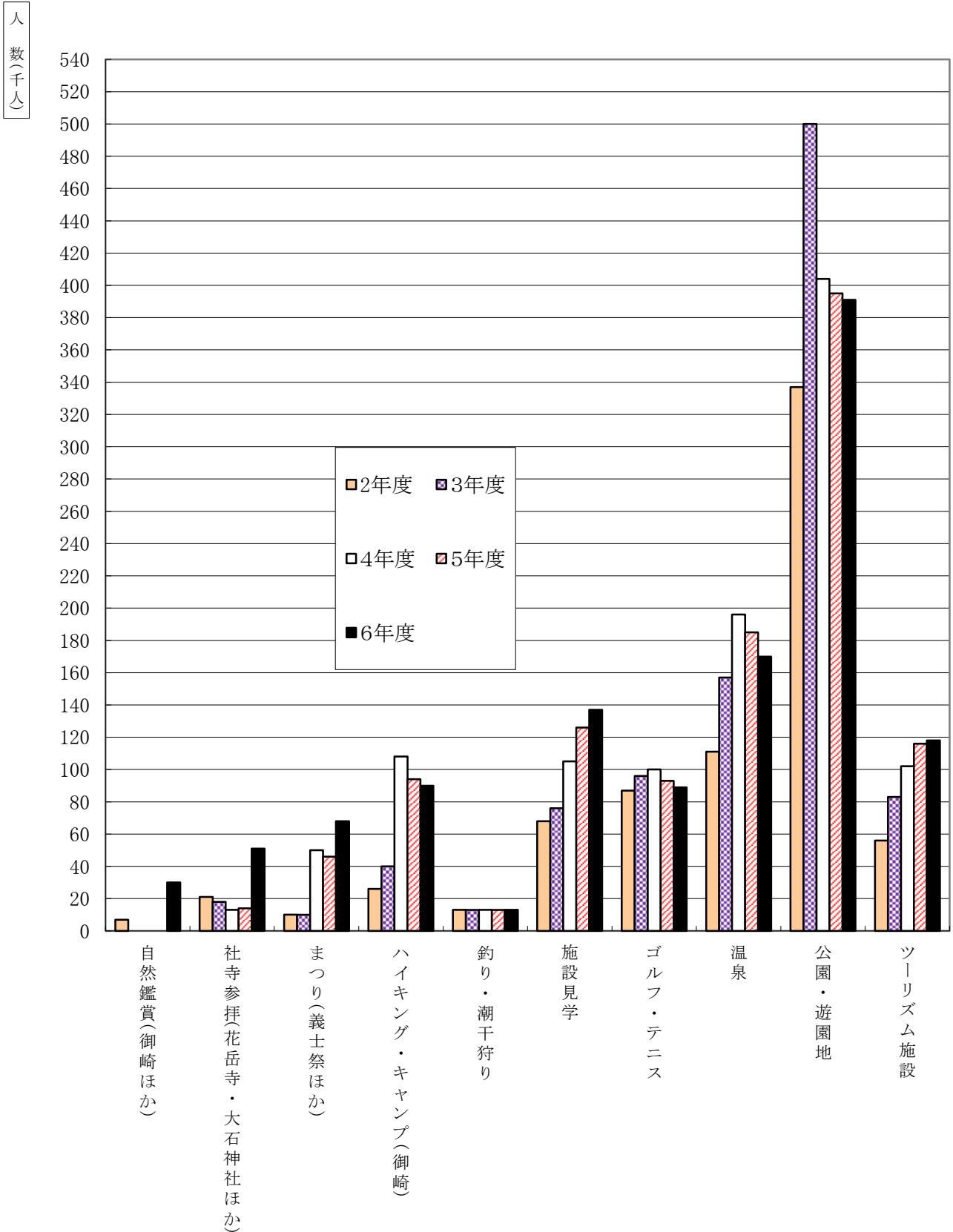
(千人・%)

区分	内容	5年度		6年度		増減	対前年度比
		入込数	構成比	入込数	構成比		
鑑賞型	自然鑑賞	0	0%	30	2%	30	—
	社寺参拝	14	1%	51	4%	37	364.3%
	まつり	46	4%	68	6%	22	147.8%
	施設見学	126	12%	137	12%	11	108.7%
小計		186	17%	286	24%	100	153.8%
スポーツ型	ハイキング・キャンプ	94	9%	90	8%	△4	95.7%
	ゴルフ・テニス	93	9%	89	8%	△4	95.7%
小計		187	18%	179	16%	△8	95.7%
行楽型	釣り・潮干狩り	13	1%	13	1%	0	100.0%
	温泉	185	17%	170	15%	△15	91.9%
	公園・遊園地	395	36%	391	34%	△4	99.0%
小計		593	54%	574	50%	△19	96.8%
体験型	ツーリズム施設	116	11%	118	10%	2	101.7%
合計		1,082	100%	1,157	100%	75	106.9%



〈表6〉

最近5年間の目的別入込数



令和6年度兵庫県観光客動態調査結果（速報）

1 観光入込客数

令和6年度の観光入込客数は、前年度を297万人上回る **1億2,529万人**(対前年度比102.4%)となった。
 令和5年5月の新型コロナウイルス感染症法上の5類移行に加え、「兵庫デスティネーションキャンペーンアフターキャンペーン」の取組や、施設の開業・改修、さらに冬季の降雪状況が良好であったことが影響したと考えられる。

＜令和6年度の主なトピックス＞

- ・「兵庫デスティネーションキャンペーンアフターキャンペーン」の実施 [7/1～9/30]

〔＜参考：調査対象＞ ・調査対象期間 令和6年4月～令和7年3月
 ・調査対象基準 年間入込客数10,000人以上もしくは特定月5,000人以上の施設等
 ・調査対象地点数 約1,400地点〕

(1) 地域別の状況について

(単位：千人)

項目 \ 地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	全県
令和6年度	29,240	14,538	17,646	8,000	13,987	10,740	4,989	8,219	5,097	12,835	125,291
対前年度比	110.5%	102.0%	98.6%	103.3%	102.6%	98.5%	97.8%	102.7%	102.1%	96.3%	102.4%
対令和元年度比	82.6%	98.7%	93.2%	81.2%	100.3%	103.6%	80.6%	87.4%	100.5%	101.8%	91.8%
令和5年度	26,450	14,251	17,901	7,747	13,632	10,907	5,103	8,003	4,991	13,333	122,317
令和元年度	35,420	14,727	18,935	9,848	13,941	10,366	6,187	9,409	5,072	12,603	136,508

地域	対前年度増減 (増減率)	主な増減要因
神戸	+279万人 (+10.5%)	・神戸青少年科学館では開館40周年記念企画展が好調で利用者を伸ばし、神戸須磨シーワールドのオープン(R6.6)の影響もあり増加。
阪神南	+28.7万人 (+2.0%)	・尼崎市記念公園での企業・団体の周年イベントの増加や、芦屋神社を含む芦屋市内の神社を巡るスタンプラリーの誘客効果もあり増加。
阪神北	▲25.5万人 (▲1.4%)	・能勢妙見ケーブルが廃止(R5.12)となった影響による大幅な減少や、域内の宿泊施設の休業による宿泊客数の減少。
東播磨	+25.3万人 (+3.3%)	・みとろフルーツパークのリニューアルオープン(R6.4)や、総合運動公園等の屋外施設が天候にも恵まれ、利用者を伸ばした影響により増加。
北播磨	+35.5万人 (+2.6%)	・道の駅みきでは近隣施設で馬術大会が多く開催された影響により利用者を伸ばし、播磨中央公園ではロハスパークなどのイベント開催が盛況だった影響により増加。
中播磨	▲16.7万人 (▲1.5%)	・前年度は姫路城世界遺産登録30周年記念事業の効果で大幅に増加しており、その反動で姫路市の入込客数が伸び悩んだ影響もあり減少。
西播磨	▲11.4万人 (▲2.2%)	・冬季は降雪に恵まれスキー場の利用者が増加した一方で、夏季は連日の猛暑の影響により、新舞子海水浴場をはじめ海水浴客が大きく伸び悩んだため減少。
但馬	+21.6万人 (+2.7%)	・ハチ高原や県立但馬牧場公園等のスキー場では降雪に恵まれ、多くのスキー客が訪れた影響もあり増加。
丹波	+10.6万人 (+2.1%)	・丹波年輪の里での新しいイベントの開催や、例年よりも紅葉の色づく期間が長く、紅葉めぐりに訪れる方が増えた影響により増加。
淡路	▲49.8万人 (▲3.7%)	・洲本市のゴルフ宿泊施設の閉業や、淡路夢舞台「奇跡の星の植物館」の休館(R6.4～R7.3)等の影響もあり減少。

(2) 日帰・宿泊別等の入込状況

日帰客が1億1,281万人(+1.8%、全体比90.0%)、宿泊客が1,249万人(+8.9%、全体比10.0%)

となり、全県の宿泊客の増加率が日帰り客の増加率を上回る結果となった。

(単位:千人)

区 分	令和6年度		令和5年度		令和元年度		対前年度 増減	対前年度 増減率	対令和元年度 増減	対令和元年度 増減率	
	入込客数	全体比	入込客数	全体比	入込客数	全体比					
全 県	総入込客数	125,291	100.0%	122,317	100.0%	136,508	100.0%	2,974	2.4%	▲11,217	▲8.2%
	日 帰 客	112,807	90.0%	110,848	90.6%	124,668	91.3%	1,959	1.8%	▲11,861	▲9.5%
	宿 泊 客	12,485	10.0%	11,469	9.4%	11,840	8.7%	1,016	8.9%	645	5.4%
神 戸	総入込客数	29,240	100.0%	26,450	100.0%	35,420	100.0%	2,790	10.5%	▲6,180	▲17.4%
	日 帰 客	24,580	84.1%	22,629	85.6%	30,650	86.5%	1,951	8.6%	▲6,070	▲19.8%
	宿 泊 客	4,660	15.9%	3,821	14.4%	4,770	13.5%	839	22.0%	▲110	▲2.3%
阪 神 南	総入込客数	14,538	100.0%	14,251	100.0%	14,727	100.0%	287	2.0%	▲189	▲1.3%
	日 帰 客	13,792	94.9%	13,565	95.2%	14,036	95.3%	227	1.7%	▲244	▲1.7%
	宿 泊 客	746	5.1%	686	4.8%	691	4.7%	60	8.7%	55	8.0%
阪 神 北	総入込客数	17,646	100.0%	17,901	100.0%	18,935	100.0%	▲255	▲1.4%	▲1,289	▲6.8%
	日 帰 客	17,320	98.2%	17,541	98.0%	18,567	98.1%	▲221	▲1.3%	▲1,247	▲6.7%
	宿 泊 客	327	1.9%	361	2.0%	368	1.9%	▲34	▲9.4%	▲41	▲11.1%
東 播 磨	総入込客数	8,000	100.0%	7,747	100.0%	9,848	100.0%	253	3.3%	▲1,848	▲18.8%
	日 帰 客	7,487	93.6%	7,224	93.2%	9,372	95.2%	263	3.6%	▲1,885	▲20.1%
	宿 泊 客	513	6.4%	522	6.7%	476	4.8%	▲9	▲1.7%	37	7.8%
北 播 磨	総入込客数	13,987	100.0%	13,632	100.0%	13,941	100.0%	355	2.6%	46	0.3%
	日 帰 客	13,354	95.5%	13,106	96.1%	13,383	96.0%	248	1.9%	▲29	▲0.2%
	宿 泊 客	633	4.5%	525	3.9%	558	4.0%	108	20.6%	75	13.4%
中 播 磨	総入込客数	10,740	100.0%	10,907	100.0%	10,366	100.0%	▲167	▲1.5%	374	3.6%
	日 帰 客	8,958	83.4%	9,117	83.6%	9,385	90.5%	▲159	▲1.7%	▲427	▲4.5%
	宿 泊 客	1,782	16.6%	1,790	16.4%	981	9.5%	▲8	▲0.4%	801	81.7%
西 播 磨	総入込客数	4,989	100.0%	5,103	100.0%	6,187	100.0%	▲114	▲2.2%	▲1,198	▲19.4%
	日 帰 客	4,350	87.2%	4,451	87.2%	5,566	90.0%	▲101	▲2.3%	▲1,216	▲21.8%
	宿 泊 客	639	12.8%	652	12.8%	621	10.0%	▲13	▲2.0%	18	2.9%
但 馬	総入込客数	8,219	100.0%	8,003	100.0%	9,409	100.0%	216	2.7%	▲1,190	▲12.6%
	日 帰 客	6,479	78.8%	6,310	78.8%	7,489	79.6%	169	2.7%	▲1,010	▲13.5%
	宿 泊 客	1,740	21.2%	1,694	21.2%	1,920	20.4%	46	2.7%	▲180	▲9.4%
丹 波	総入込客数	5,097	100.0%	4,991	100.0%	5,072	100.0%	106	2.1%	25	0.5%
	日 帰 客	4,911	96.4%	4,801	96.2%	4,858	95.8%	110	2.3%	53	1.1%
	宿 泊 客	187	3.7%	190	3.8%	214	4.2%	▲3	▲1.6%	▲27	▲12.6%
淡 路	総入込客数	12,835	100.0%	13,333	100.0%	12,603	100.0%	▲498	▲3.7%	232	1.8%
	日 帰 客	11,576	90.2%	12,106	90.8%	11,362	90.2%	▲530	▲4.4%	214	1.9%
	宿 泊 客	1,259	9.8%	1,227	9.2%	1,241	9.8%	32	2.6%	18	1.5%

<参考：目的別の入込状況>

(単位:千人)

目的	年度	令和6年度		令和5年度		令和元年度		対前年度 増減	対前年度 増減率	対令和元年度 増減	対令和元年度 増減率
		入込客数	全体比	入込客数	全体比	入込客数	全体比				
総入込客数		125,291	100.0%	122,317	100.0%	136,508	100.0%	2,974	2.4%	▲11,217	▲8.2%
自 然		2,546	2.0%	2,778	2.3%	2,848	2.1%	▲232	▲8.4%	▲302	▲10.6%
歴 史 ・ 文 化		28,286	22.6%	27,243	22.3%	29,456	21.6%	1,043	3.8%	▲1,170	▲4.0%
温 泉 ・ 健 康		6,786	5.4%	6,966	5.7%	6,792	5.0%	▲180	▲2.6%	▲6	▲0.1%
スポーツ・レクリエーション		36,132	28.8%	35,485	29.0%	36,626	26.8%	647	1.8%	▲494	▲1.3%
都 市 型 観 光		18,549	14.8%	18,302	15.0%	20,064	14.7%	247	1.3%	▲1,515	▲7.6%
そ の 他 (道 の 駅 等)		13,606	10.9%	13,819	11.3%	15,117	11.1%	▲213	▲1.5%	▲1,511	▲10.0%
行 祭 事 ・ イ ベ ン ト		19,386	15.5%	17,723	14.5%	25,605	18.7%	1,663	9.4%	▲6,219	▲24.3%

○令和6年度の地域別

(単位:千人)

区 分	全 県	神 戸	阪 神 南	阪 神 北	東 播 磨	北 播 磨	中 播 磨	西 播 磨	但 馬	丹 波	淡 路
総入込客数	125,291	29,240	14,538	17,646	8,000	13,987	10,740	4,989	8,219	5,097	12,835
自 然	2,546	540	85	92	103	326	392	133	355	74	446
歴 史 ・ 文 化	28,286	4,193	4,780	5,377	2,281	1,113	3,576	599	2,013	431	3,924
温 泉 ・ 健 康	6,786	254	0	1,125	588	677	398	523	1,858	300	1,063
スポーツ・レクリエーション	36,132	2,769	3,769	6,372	3,773	7,978	2,232	1,637	1,622	1,631	4,350
都 市 型 観 光	18,549	13,271	0	610	508	812	179	34	261	1,763	1,112
そ の 他 (道 の 駅 等)	13,606	187	441	3,517	427	2,320	1,371	1,428	1,632	525	1,757
行 祭 事 ・ イ ベ ン ト	19,386	8,025	5,464	554	319	761	2,591	634	478	375	184

<参考：四季別の入込状況>

(単位：千人)

四季	令和6年度入込客数		令和5年度入込客数		令和元年度入込客数		対前年度 増減	対前年度 増減率	対令和元年度 増減	対令和元年度 増減率
	入込客数	全体比	入込客数	全体比	入込客数	全体比				
総入込客数	125,291	100.0%	122,317	100.0%	136,508	100.0%	2,974	2.4%	▲11,217	▲8.2%
春(4月～6月)	29,806	23.8%	29,641	24.2%	35,322	25.9%	165	0.6%	▲5,516	▲15.6%
夏(7月～9月)	30,598	24.4%	29,776	24.3%	33,710	24.7%	822	2.8%	▲3,112	▲9.2%
秋(10月～12月)	30,544	24.4%	30,527	25.0%	35,495	26.0%	17	0.1%	▲4,951	▲13.9%
冬(1月～3月)	34,344	27.4%	32,374	26.5%	31,981	23.4%	1,970	6.1%	2,363	7.4%

○令和6年度の地域別

(単位：千人)

区分	全県	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路
総入込客数	125,291	29,240	14,538	17,646	8,000	13,987	10,740	4,989	8,219	5,097	12,835
春(4月～6月)	29,806	6,587	3,417	4,140	2,032	3,624	2,318	1,247	1,889	1,304	3,248
夏(7月～9月)	30,598	6,383	3,900	4,207	1,947	3,631	2,275	1,215	2,383	1,267	3,389
秋(10月～12月)	30,544	6,742	2,457	4,249	1,784	3,782	3,361	1,396	2,021	1,698	3,054
冬(1月～3月)	34,344	9,528	4,764	5,050	2,236	2,950	2,786	1,130	1,926	828	3,144

(3) 主要観光施設への入込客数 (非公表施設を除く)

上位10施設のうち9施設が前年と同じ施設であり、例年同様に推移している。

令和6年度上位10施設

(単位：千人)

順位	観光施設名	入込客数
1	阪神甲子園球場 (西宮市)	4,026
2	伊弉諾神宮 (淡路市)	2,687
3	清荒神清澄寺 (宝塚市)	2,460
4	明石公園 (明石市)	2,282
5	西宮神社 (西宮市)	2,265
6	宝塚北サービエリア (宝塚市)	2,151
7	姫路城 (姫路市)	1,532
8	淡路ハイウェイオアシス (淡路市)	1,503
9	三木総合防災公園 (三木市)	1,077
10	甲山森林公園 (西宮市)	1,014

令和5年度上位10施設

(単位：千人)

順位	観光施設名	入込客数
1	阪神甲子園球場 (西宮市)	4,104
2	伊弉諾神宮 (淡路市)	2,778
3	清荒神清澄寺 (宝塚市)	2,405
4	明石公園 (明石市)	2,302
5	宝塚北サービエリア (宝塚市)	2,157
6	西宮神社 (西宮市)	2,080
7	淡路ハイウェイオアシス (淡路市)	1,590
8	姫路城 (姫路市)	1,480
9	フルーツ・フラワーパーク (神戸市)	1,309
10	三木総合防災公園 (三木市)	1,101

令和元年度上位10施設

(単位：千人)

順位	観光施設名	入込客数
1	阪神甲子園球場 (西宮市)	3,836
2	明石公園 (明石市)	3,136
3	清荒神清澄寺 (宝塚市)	3,020
4	宝塚北サービエリア (宝塚市)	2,625
5	西宮神社 (西宮市)	2,283
6	伊弉諾神宮 (淡路市)	2,010
7	淡路ハイウェイオアシス (淡路市)	1,550
8	姫路城 (姫路市)	1,548
9	中山寺 (宝塚市)	1,274
10	三木総合防災公園 (三木市)	1,074

(注) 社寺参拝・イベント等を含んで再集計しているため、過去に公表した順位と異なる場合があります。

2 経済波及効果等

(1) 県内観光消費額・観光産業県内総生産

令和6年度県内観光消費額(名目)は、**1兆5,059億円**(前年度比96.1%)、観光産業の付加価値額である観光産業県内総生産(名目)は8,148億円(同94.9%)である。

前年度は「ひょうごを旅しようキャンペーン」(全国旅行支援)などコロナ特需と言えるような特殊事情により観光消費額が大幅に増加したことから、令和6年度は前年度を下回ったものの、令和元年度比では上回っており順調に推移している。

また、物価変動を除いた観光産業県内総生産(実質)は、7,308億円(同92.7%)、これは、実質県内総生産比3.1%である。

(単位：億円)

<区分>	県内観光消費額(名目) (※1)	観光産業県内総生産(※2)		県内総生産 (実質)(B)	県内総生産(実質)比 (C=A/B) (%)
		名目	実質(A)		
令和6年度	15,059	8,148	7,308	232,112	3.1%
対前年度比(%)	96.1%	94.9%	92.7%	100.3%	-
対令和元年度比(%)	122.3%	116.6%	106.1%	104.5%	-
令和5年度	15,677	8,590	7,884	231,444	3.4
令和元年度	12,312	6,985	6,886	222,083	3.1

(出典)：兵庫県統計課「兵庫県民経済計算」、兵庫県観光振興課「兵庫県観光客動態調査」、観光庁「旅行・観光消費動向調査」の単価等を用いて推計

- ※1 観光消費額 = 観光客数 × 観光消費単価(交通費、宿泊費、飲食費、買物代、その他)
 ※2 観光産業県内総生産 = 観光消費額 × 付加価値比率(兵庫県統計課「兵庫県民経済計算」に基づく)
 (名目) 実際に市場で取引されている価格(市場価格)に基づいて推計された値
 (実質) 基準年次(平成27年: R4年1月改定)からの物価の変動分(上昇・低下)を名目値から取り除いた値

(2) 県内観光消費額の経済波及効果概要

「令和2年兵庫県産業連関表」をもとに推計した結果、県内観光消費額(1兆5,059億円)にかかる経済波及効果(生産誘発額)は、**2兆2,486億円**(前年度比94.7%)、県内観光消費により新たに生み出された付加価値誘発額は、1兆3,230億円(同94.3%)、創出された就業者誘発数は、27万8千人(同96.4%)となった。

兵庫県内観光消費額の経済波及効果概要

(単位：億円、人)

項目	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和元年度	対前年度比(%)	対令和元年度比(%)	備考
経済波及効果(生産誘発額)	22,486	23,738	16,845	18,100	94.7	124.2	経済効果(売上額の合計)
直接効果	15,059	15,677	11,429	12,312	96.1	122.3	観光消費額(実観光客数×消費単価)
間接効果	7,427	8,062	5,416	5,788	92.1	128.3	原材料、消費支出から誘発効果
付加価値誘発額(GDP相当)	13,230	14,030	9,699	10,071	94.3	131.4	(売上額-経費等)の合計
就業者誘発数	277,501	287,938	174,392	207,895	96.4	133.5	就業者(個人業主、雇用者等)に換算

- ※ 兵庫県統計課「令和2年兵庫県産業連関表」を用いて推計
 ※ 経済波及効果(=直接効果+間接効果) ・直接効果：県内観光消費額
 ・間接効果：原材料や消費支出からの波及(産業連関分析により推計)

(注)・端数処理のため、資料中の表の内訳と合計は必ずしも一致しません。
 ・県内観光消費額等は推計時点の最新の統計資料を用いて推計しているため、過去に公表した数字と異なる場合があります。

< 参考資料 1 >

地域別主要施設・イベントの入込状況

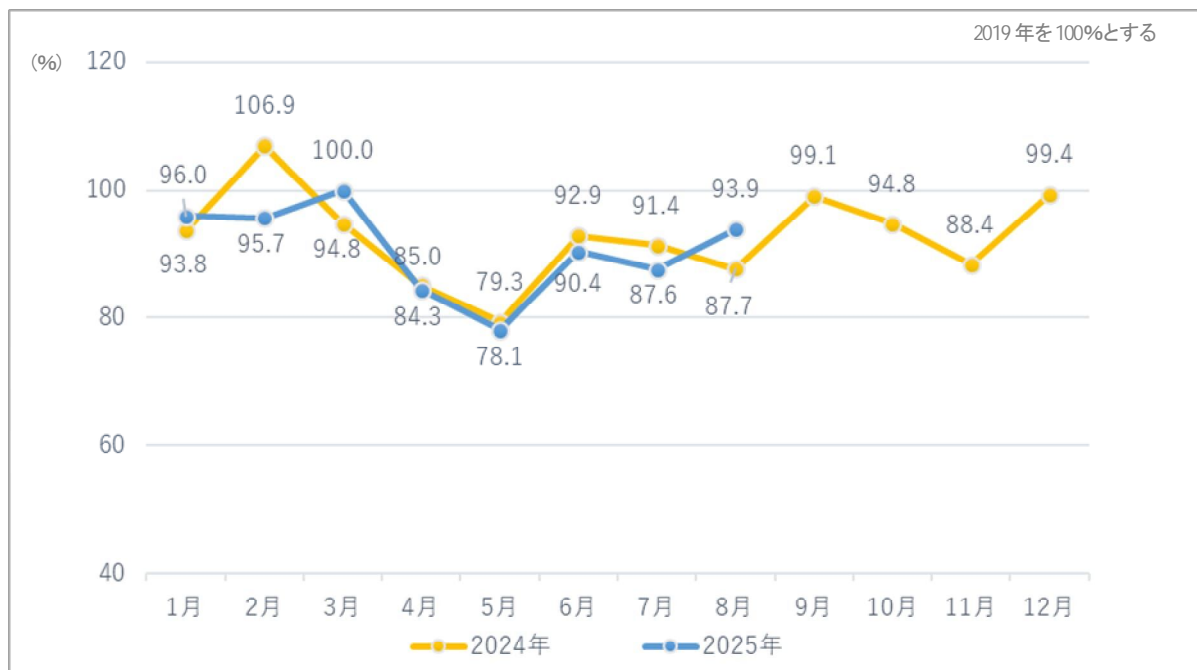
(単位:千人)

地域別	観光地・イベント名	令和6年度	令和5年度	令和元年度	対前年度増減	対前年度増減率	対令和元年度増減	対令和元年度増減率
神戸	フルーツ・フラワーパーク	1,319	1,309	1,275	10	0.8%	44	3.5%
	神戸水布引ハーブ園	603	592	416	11	1.9%	187	45.0%
	王子動物園	742	787	1,109	▲45	▲5.7%	▲367	▲33.1%
	有馬温泉(金の湯等)	739	650	673	89	13.7%	66	9.8%
阪神南	阪神甲子園球場	4,026	4,104	3,836	▲78	▲1.9%	190	5.0%
	尼崎城	83	62	211	21	33.9%	▲128	▲60.7%
	西宮神社	2,265	2,080	2,283	185	8.9%	▲18	▲0.8%
	廣田神社	594	585	565	9	1.5%	29	5.1%
阪神北	道の駅いながわ	624	601	628	23	3.8%	▲4	▲0.6%
	宝塚北サービスエリア	2,151	2,157	2,625	▲6	▲0.3%	▲474	▲18.1%
	有馬富士公園	775	795	774	▲20	▲2.5%	1	0.1%
	伊丹スカイパーク	623	607	682	16	2.6%	▲59	▲8.7%
東播磨	明石公園	2,282	2,302	3,136	▲20	▲0.9%	▲854	▲27.2%
	八幡神社	257	231	235	26	11.3%	22	9.4%
	高砂市総合運動公園	237	205	160	32	15.6%	77	48.1%
	大中遺跡	183	207	196	▲24	▲11.6%	▲13	▲6.6%
北播磨	ひまわりの丘公園	689	762	512	▲73	▲9.6%	177	34.6%
	播磨中央公園	467	459	460	8	1.7%	7	1.5%
	北はりま田園空間博物館総合案内所	377	364	431	13	3.6%	▲54	▲12.5%
	道の駅みき	318	302	324	16	5.3%	▲6	▲1.9%
中播磨	姫路城	1,532	1,480	1,548	52	3.5%	▲16	▲1.0%
	砥峰高原	98	101	80	▲3	▲3.0%	18	22.5%
	好古園	580	530	428	50	9.4%	152	35.5%
	アクリエひめじ	456	454	-	2	0.4%	皆増	皆増
西播磨	赤穂温泉	170	185	228	▲15	▲8.1%	▲58	▲25.4%
	揖保乃糸資料館そうめんの里	112	86	98	26	30.2%	14	14.3%
	道の駅みつ	297	267	300	30	11.2%	▲3	▲1.0%
	ちくさ高原スキー場	73	53	19	20	37.7%	54	284.2%
但馬	城崎温泉外湯めぐり	752	776	827	▲24	▲3.1%	▲75	▲9.1%
	湯村温泉	181	174	183	7	4.0%	▲2	▲1.1%
	県立但馬牧場公園	191	158	143	33	20.9%	48	33.6%
	神鍋高原スキー場	97	31	23	66	212.9%	74	321.7%
丹波	丹波並木道中央公園	273	263	159	10	3.8%	114	71.7%
	大正ロマン館	191	174	141	17	9.8%	50	35.5%
	道の駅丹波おばあちゃんの里	404	395	370	9	2.3%	34	9.2%
	丹波年輪の里	209	186	162	23	12.4%	47	29.0%
淡路	伊弉諾神宮	2,687	2,778	2,010	▲91	▲3.3%	677	33.7%
	淡路ハイウェイオアシス	1,503	1,590	1,550	▲87	▲5.5%	▲47	▲3.0%
	洲本温泉	432	443	481	▲11	▲2.5%	▲49	▲10.2%
	淡路島公園	822	812	636	10	1.2%	186	29.2%

< 参考資料 2 >

主要観光施設(※)の入込客数の対2019年比 (月別)

2024(R6)年の主要観光施設における観光入込客数の2019年同月比は、2月は2019年を上回ったものの低調な傾向にあり、2025(R7)年も2024(R6)年同様に推移している。



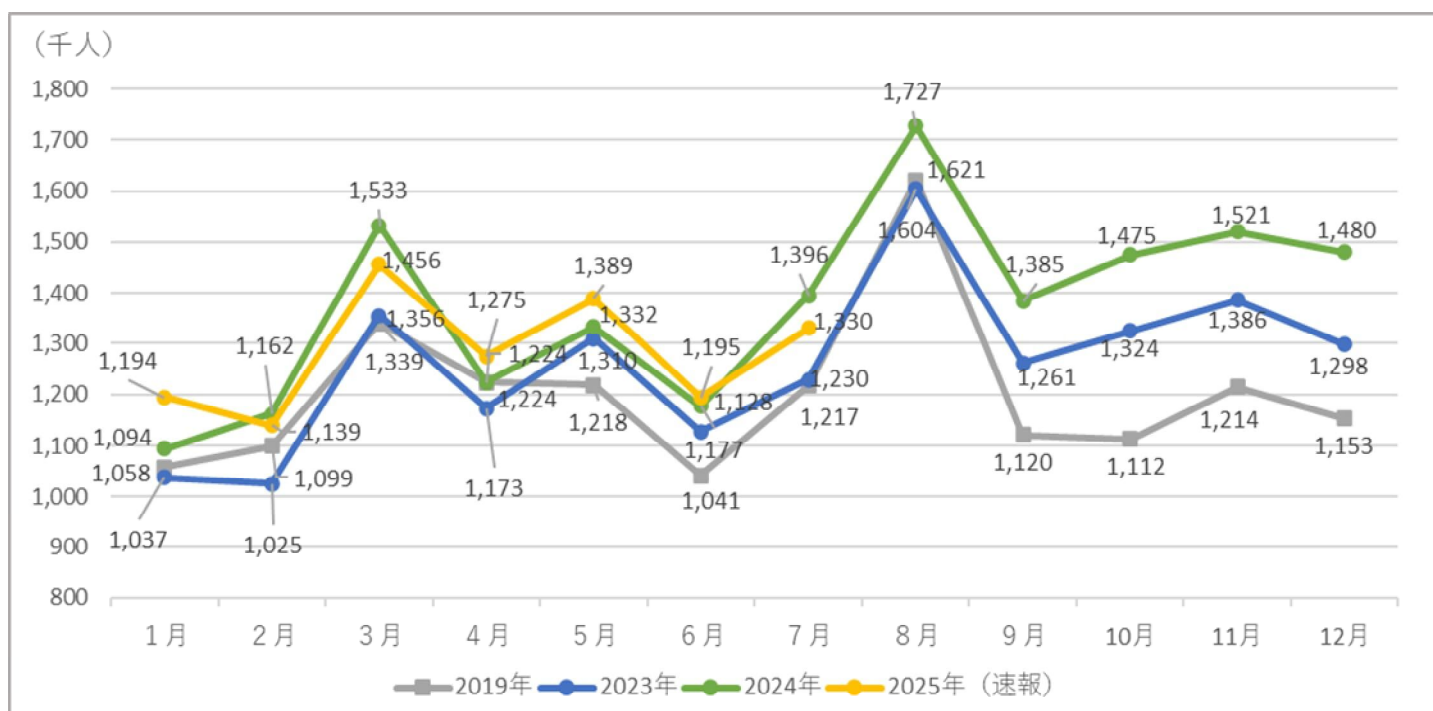
出典：兵庫県調べ ※地域毎の主要観光施設（約66地点）を調査

< 参考資料 3 >

県内延べ宿泊者数の推移 (月別)

2024(R6)年は、全期間でコロナ前の2019(R1)年、2023(R5)年を上回る水準で推移している。

2025(R7)年は7月時点で全期間において2019(R1)年、2023(R5)年を上回る水準で推移しているが、2024(R6)年と比較すると宿泊者数が減少している月(2月、3月、7月)がある。



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」より作成

令和6年度 赤穂市観光客動態調査報告書

発行 (一社) あこう魅力発信基地・赤穂市
